

山正ニュース

2017年9月号 (通巻100号)

< 山正ネットワーク >

・本社	☎ <058>271-4468	岐阜県岐阜市市橋4-5-15
・岐阜営業所	☎ <058>271-4466	(本社内)
・可児営業所	☎ <0574>62-5228	岐阜県可児市川合345-1
・富山営業所	☎ <0766>55-3882	富山県射水市大江207-1
・飛騨営業所	☎ <0577>72-4866	岐阜県高山市国府町村山857-2
・山正HPアドレス	http://www.yamasyou.com/	

§ 1 主食用米等の需給見通しについて

～民間在庫量の適正化が進み、
需給環境が堅調に推移する見込み！～

農水省はこのほど今年度から来年度にかけての主食用米等の需給見通しを公表しました（米に関するマンスリーレポート；平成29年7月号）。それによると、今年6月までに持越している民間在庫量と今年の生産量を加えた総供給量から予想される需要量を差し引いた来年6月末の民間在庫量は180万ト程度となり、適正在庫量の指標200万トをかなり下回るものと見込まれています。また、民間のコメ市況調査会社米穀データバンクの予想では7月31日現在の作況がやや良となると見込まれていますが、極端な生産過剰には至らず、向う一年間は価格的にも安定した環境の中でコメの取引が推移するものと思われます。

下の図は農水省が公表した平成29/30年の主食用米等の需給見通しです。平年ベースの作柄が確保された場合生産目標数量ベースでは735万トの収穫が見込まれ、これに6月末民間在庫量200万トを加えた供給量は935万トに達します。これから需要量（753万ト）を差し引くと、来年の6月末の在庫量は182万トとなります。なお、下図の右側の数値は全国で取り組まれている主食用米以外への作付けによる自主的取組みを参考にしたものですが、その場合は180万トの在庫が見込まれています。

いずれにしても、来年6月末の民間在庫量は180万ト前後に落ち着くものと思われ、供給過剰による価格面の不安定要因はかなり改善されると見込まれることから、コメ生産に希望が持てるような価格帯での取引が期待できる状況になっているといえます。

平成29/30年の主食用米等の需給見通し

平成29年6月末民間在庫量	A	200	200
平成29年産主食用米等生産量	B	735 ^{※1} (生産数量目標)	733 ^{※2} (自主的取組参考値)
平成29/30年産主食用米等供給量計	C=A + B	935	933
平成29/30年産主食用米等需要量	D	753	753
平成30年6月末民間在庫量	E=C - D	182	180

※1 生産数量目標：近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万ト減少していることを勘案し、平成28年産米の生産目標数量743万トから8万トを控除した735万トと設定

※2 自主的取組参考値：平成30年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万ト）となるものとして、733万トと設定

出典：農水省HP、米に関するマンスリーレポート（平成29年7月号）を一部改変して掲載



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



§ 2 水稻育苗床土に関する技術情報

～弊社取扱い「軽易土」使用で、
育苗期の細菌病が大幅に減少することが明らかに！～

今年度の日本植物病理学会で、弊社が取扱いしている「軽易土」に育苗器の細菌病の発病を抑える効果があるという興味深い発表がありましたのでその概要を紹介いたします。

イネの育苗期の病害が育苗培土の種類によって発生に著しい差があることに着目し、広く用いられている培土を用いて試験した結果、軽量培土の使用で、もみ枯細菌病及び苗立枯細菌病が発生しにくい傾向が認められました。中でも、やし殻繊維を母材にした「軽易土」を用いて育苗するとこれらの病害がほとんど発生しない結果が得られています（富山農総セ農研、関原ら；平成29年4月27日、日本植物病理学会）。安定した育苗のために「軽易土」の使用をお奨めしたいと思います。詳しくは最寄りの営業担当にお尋ね下さい。

§ 3 山正ニュース、今月号で通巻100号に！

2009年（平成21年）6月に第1号を発刊した「山正ニュース」が今月号で通巻100号に達しました。通巻81号から100号の内容は以下のとおりです。今後とも利用価値の高いものを目指して発行を継続していきますので、忌憚のないご意見などをお寄せいただきたいと思います。

（なお、総目次は通巻1～30号までは30号に、31～50号までは50号に、51～80号までは80号にそれぞれ記載してありますので参考にして下さい）

通 巻	タ イ ト ル
81号	§ 1；岐阜県で稲作経営者研究大会が開催される～TPP関連で白熱した議論を展開、エアドーム方式の農業ハウスやドローンにも熱い視線！～
82号	§ 1；富山営業所で営農友の会を開催～実物を展示したドローンに強い関心集まる！～ § 2；除草剤専用散布機の紹介
83号	§ 1；食料品の賞味期限と消費期限について（※） § 2；「特A」産地過去最多、ブランド競争激化へ（※）
84号	§ 1；田植後の水管理の重要性について～特A品質の維持には水管理が決め手！～ 囲み記事 新入社員の紹介
85号	§ 1；取りこぼしの雑草対策～収穫期まで取りこぼさないためには、中・後期剤の適正な処理が大切！～ 囲み記事 新入社員の紹介
86号	§ 1；有機栽培農産物に使用できる肥料について～有機JASに適合することが原則、農家は肥料生産販売業者からの書類で（※）
87号	§ 1；農林水産業における権利保護の動き～GIマークで製品の差別化（※） § 2；我が国の水田の利用状況
88号	§ 1；弊社でも産業用マルチローターの販売開始～すでに5機を納品、今後の伸びに大きな期待 § 2；水稻刈取り後の除草対策について
89号	§ 1；産業用マルチローター（DAX04）のオペレーター免許取得に向けた生徒募集開始！ § 2；除草剤耐性雑草発生情報～（※）
90号	§ 1；富山22年ぶりの「良」、岐阜は平年並み～農水省が今年の作柄を公表（※）！～ § 2；除草剤耐性雑草発生情報～（※）
91号	§ 1；第1回農業用マルチローター免許取得教室開催～岐阜で5名、富山で5名誕生へ！～ § 2；第2回「飛騨農会」を開催
92号	新年ご挨拶 2017年のはじまりにあたり 代表取締役 § 1；第1回富山県山正イテゴ研究会を開催～（※）
93号	§ 1；2017年は世界の農業メーカーの動きに要注目！！～ § 2；コメについて考える⑩～コメ輸出に新たな動き（※）
94号	§ 1；世界の種子市場の歴史と現状並びに将来展望～（※） § 2；富山営業所で営農友の会を開催～（※）
95号	§ 1；水稻除草剤の上手な使い方～ノビエ業齢の伸長を見極め、適期処理で効果を最大限に発揮させることが大切！～
96号	§ 1；コメについて考える⑩～種子法の廃止法案が国会で審議入り、（※）！～ § 2；コメ食味ランキング公表～岐阜は全県・全品種で「特A」、富山の（※）
97号	§ 1；取りこぼしの雑草対策～ヒエヤ、厄介な広葉雑草を収穫期まで残さないために！～ § 2；コメについて考える⑩～（※）
98号	§ 1；コメについて考える⑩～種子法廃止法が国会で成立、（*） § 2；似て非なる雑草二種～（※）
99号	§ 1；秋植え野菜の病害虫防除対策 ～防除が難しいアブラナ科野菜の、鱗翅目害虫を的確に防除するために～
100号	§ 1；主食用米等の需給見通しについて ～ ※ ～ § 2；水稻育苗床土に関する技術情報 § 3；山正ニュース ※

（※；タイトルが長いので書き切れなかったものを示す。内容は記載の号を参照のこと）

通巻1～7号（2009年6月～12月） 8～19号（2010年1月～12月） 20～30号（2011年1月～11月）
通巻31～40号（2011年12月～2012年9月） 41～50号（2012年10月～2013年7月）
通巻51～80号（2013年8月～2016年1月） 81～100号（2016年2月～2017年9月）

- § 1 主食用米等の需給見通しについて
～民間在庫量の適正化が進み、
需給環境が堅調に推移する見込み！～（名畑技術顧問）・・・・・・1ページ
- § 2 水稻育苗床土にかんする技術情報
～弊社取扱い「軽易土」使用で、
育苗期の細菌病が大幅に減少することが明らかに！～（名畑技術顧問）・・2ページ
- § 3 山正ニュース、今月号で通巻100号に！（名畑技術顧問）・・・・・・2ページ